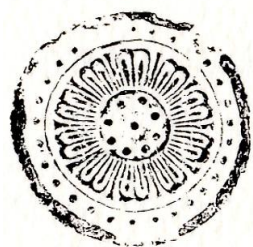


大分市歴史資料館年報

(平成 24 年度)



2013

は じ め に

平成 24 年度の大分市歴史資料館年報をお届けいたします。

本年度の展示事業は、「絵画にみる物語」・「学校の下にねむる遺跡」・「くらしの道具 今むかし」・「資料館のお宝」の 4 回のテーマ展示と、特別展「大分どんなとこ こんなとこー世界図・日本図の中の大分」を開催しました。

「絵画にみる物語」では源氏絵や大織冠図などの物語絵を通してそれらの物語の世界を、「学校の下にねむる遺跡」では校舎建築や改修工事でみつかった市内学校の遺跡を、「くらしの道具 今むかし」では“つくる”・“はこぶ”・“たべる”・“ともす”などのジャンルごとに道具の発展を、「資料館のお宝」では歴代の職員が選んだ館蔵資料の中の逸品を、それぞれご紹介しました。

特別展「大分どんなとこ こんなとこー世界図・日本図の中の大分」では、昨年度に市制 100 周年を迎えた大分市の歴史を振りかえる機会として、戦後時代から昭和時代までの様々な大分の絵地図を介し、時代を通して世界や日本の中で大分がどのように認識されたのか、また歴史の移り変わりなど御覧いただきました。

教育普及事業では、昨年度同様、「ふるさとの歴史再発見講座」をはじめ、勾玉作り・土笛作りなどの体験活動を行う「ふれあい歴史体験講座」や、小中学生を対象とした「職場体験学習」のキャリア教育などを実施するなか、「ふれあい歴史体験講座」において「土の鈴作り」を新たにメニューに加える一方で、長年にわたり実施してきたミュージアム・シアターや「子ども 1 日学芸員」を中止するにいたりましたが、職員の日々の努力もあり、お蔭さまで昨年度を 1,000 人ほど上回る、43,000 人余の利用がありました。

また、一昨年度に発足したボランティアの組織「市民学芸員」の活動も年間 80 回を超え、資料館活動の大きな力になりつつあります。

今後も市民学芸員の方々と手を携えながら、多くの市民が集い、歴史を楽しみ学習できる施設となるように努めて参りたいと思います。

平成 25 年 7 月 31 日

大分市歴史資料館
館 長 武富 雅宣

目 次

展 示	1
テーマ展示 特別展 その他展示	
資料収集	10
教育普及活動	15
歴史資料館利用状況	20
管理及び運営	21
歴史資料館協議会 組織機構・事務分掌・職員・歳入歳出 施設管理業務の内容	
施設の概要	22
利用案内	23

展 示

(1) テーマ展示

第1回 「絵画にみる物語」

会期 4月21日(土)～7月2日(月)

開館日数：63日 入館者数：3,222人

平安時代中期以降、説話や物語に絵を付し、或いはその特定の場面を絵画にして楽しむことが広く行われるようになった。そうした物語絵を代表するものに『源氏物語』を絵画化した「源氏絵」がある。そのほか、寺社の縁起や人物にまつわるものなど、さまざまな物語絵が描かれた。

本展では、館が所蔵する「源氏絵」をはじめ、藤原鎌足の伝説を絵画化した「大織冠図屏風」や、狩野探幽が模写した「由原八幡宮縁起絵巻」の縮図を展示し、人々を魅了した物語の世界を紹介した。

展示品

「大織冠図屏風」／「源氏絵」(帚木・空蝉・若紫・末摘花・花宴・須磨・明石・遭生・幻・御法・鈴虫・篝火・少女・松風／狩野探幽縮図「由原八幡宮縁起絵巻」

第2回 「学校の下にねむる遺跡」

会期 7月14日(土)～9月30日(日)

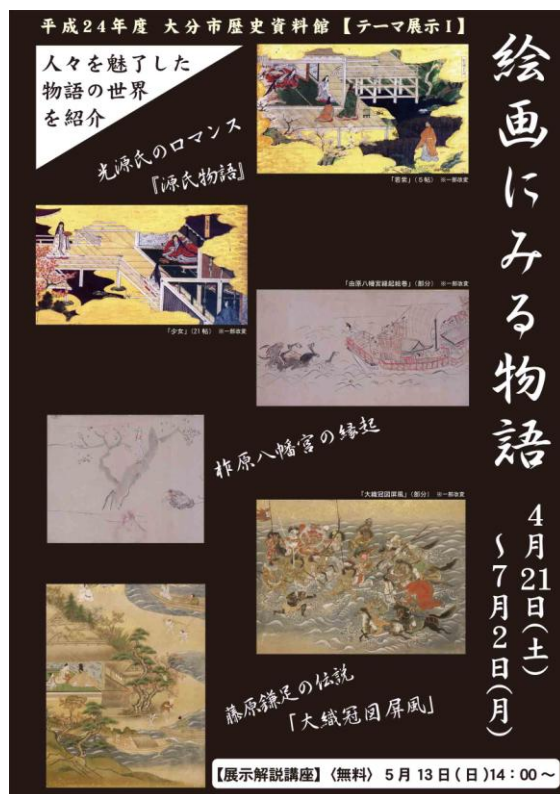
開館日数：68日 入館者数：4,133人

私たちの身近にある学校、そこにはさまざまな時代の遺跡が眠っている。学校はそれぞれの地域の中で、立地条件の良い所に建てられていることが多く、古くから人々が生活をし、地域の歴史を語りかけてくれる場所でもある。

本展では、校舎の建設や改築工事などに伴い発掘調査された学校を取り上げ、ごく身近にある遺跡を通じて、地域の歴史や先人たちの営みを紹介した。今回は、大分川より西側の6校の小学校を取り上げた。

紹介した小学校と遺跡・主な展示品

①賀来小中学校[賀来中学校遺跡](壺棺墓・ミニチュア土器など) ②南大分小学校 ③豊府小学校[古国府遺跡群](水鳥形土製品)



④大道小学校[大道条里跡]⑤上野ヶ丘中学校[若宮八幡宮遺跡](玉作り工房跡出土品など) ⑥荷揚町小学校[府内城・城下町跡](焼継ぎ陶磁器・ミニチュア土器など)



展示風景「賀来小中学校」



展示風景「荷揚町小学校」



展示風景「上野ヶ丘中学校」



全体の展示風景

第3回 「くらしの道具 今むかし」

会期 12月15日(土)～2月3日(日)

開館日数：37日 入館者数：2,460人

大昔から人は、毎日の生活を便利に過ごしていくために、いろいろな道具を作り、改良してきた。くらしの中の道具には、先人たちが残してくれた知恵と工夫がつまっており、当時のくらしの様子や時代背景なども映し出されている。

本展では、くらしの中の「つくる」「とる」「はこぶ」「たもつ」「たべる」「ともす」の6つのシーンに沿って、縄文時代から現代社会までの道具の移り変わりを紹介した。

主な展示品

「つくる」 打製石斧・木製鋤・踏鋤・長床犁など
 「とる」 石錘・土錘・釣針・鯛釣道具・投網など
 「はこぶ」 縄文籠(復原品)・桶・背負子など
 「たもつ」 水甕・樽・蝇帳・氷冷蔵庫など
 「たべる」 縄文土器深鉢・弥生土器甕・羽釜など
 「ともす」 灯明皿・行灯・裸電球・LED など

くらしの道具 今むかし

展示解説講座
 1月13日(日)
 14:00～(無料)

道具のご先祖様をさぐれ

■開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)
 ■休館日 月曜日(祝日の場合は開館)
 祝日の翌日 ただし土・日の場合は開館
 ■観覧料 大人200円 高校生100円 中学生以下無料



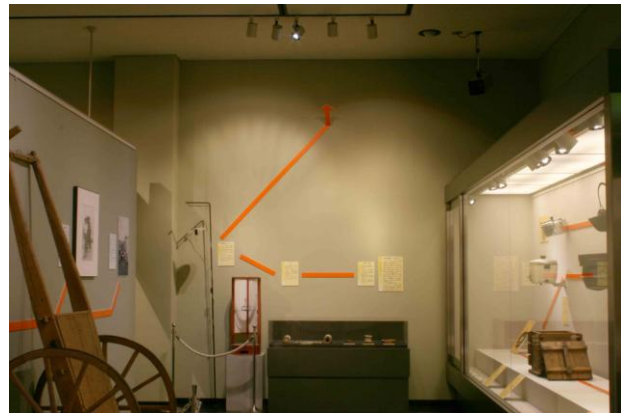
展示風景「つくる」



展示風景「たべる」



展示風景「とる」



展示風景「ともす」



展示風景「たもつ」



展示風景「はこぶ」

第4回 歴代職員が選ぶ！「資料館のお宝」

会期 2月16日(土)～4月7日(日)

開館日数：40日 入館者数：2,186人

当館は本年度に開館25周年を迎えた。この間にさまざまな資料を収集し、それらを企画展など通じて、郷土の歴史とともに紹介してきた。また、25年間の館の運営についてもたくさんの職員が携わり、館を支えてきた。

本展では、これまでに収集した個性豊かな収蔵品の中から、館と共に歩んできた歴代の資料館職員が、それぞれの視点で選ぶ逸品を「資料館のお宝」として紹介した。

主な展示品

〔考古資料〕 ステゴドン象化石・4000年前のドングリ(横尾貝塚)・勾玉飾り付弥生土器壺(久原遺跡)・小銅鐸(多武尾遺跡)〔市指定有形文化財〕・

豊後国分寺の創建瓦・「尼寺 天長九年」銘墨書土器（豊後国分寺跡）〔市指定有形文化財〕

〔歴史資料〕 源頼朝書状・大友宗麟書状・蘭語譯撰・熊本藩主細川氏御座船鶴崎入港図・御城下絵図〔市指定有形文化財〕・松平忠昭中津留屋敷絵図・瀧廉太郎直筆楽譜「花盛り」

〔美術・工芸品〕 華南三彩刻花文六耳壺・花鳥文蒔絵螺鈿洋櫃・源氏物語図「花宴」・桜楓山水図蒔絵印籠・刀「盛利」

〔民俗資料〕 「慶応二」銘入り唐箕・畳職道具



展示風景「歴史資料」



展示風景「美術・工芸品」



展示風景「民俗資料」



展示風景「考古資料」



全体の展示風景

(2) 特別展

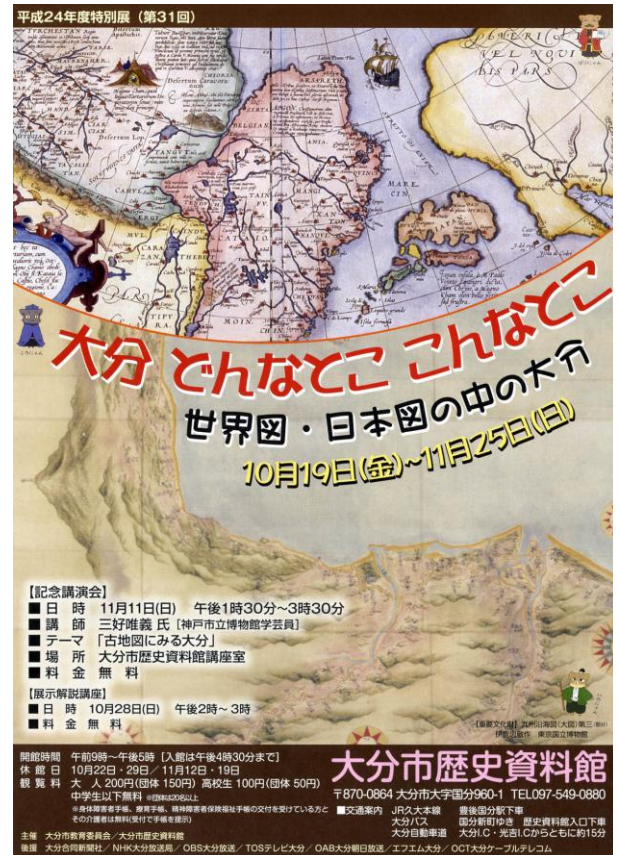
第31回特別展 大分どんなとこ こんなとこー世界図・日本図の中の大分ー

大分市は明治44年(1911)に市制を施行し、昨年度で100周年を迎えた。その間、県都として着実に発展していくなか、市内の地形や景観などは大きく変わっていった。そうした大分の変化を私たちに視覚的に語り伝えてくれるものの一つが昔の地図や絵図である。こうした古い地図や絵図には、当時の人々の地理認識とともに、それらが作られた時代の歴史や様々な情報が集約されているといわれている。

本特別展では、大分を描いた様々な古地図や古絵図を通して、大分が世界や日本全体の中でどのように位置付けられ、認識されていたのか、またその移り変わりなどを紹介した。

なお、会期中の11月11日(日)に神戸市立博物館の学芸員、三好唯義氏を講師にお招きし、「古地図にみる大分」の演題にて記念講演会を開催した。

平成24年度特別展(第31回)



大分どんなとこ こんなとこー
世界図・日本図の中の大分
10月19日(金)~11月25日(日)

【記念講演会】
■日時 11月11日(日) 午後1時30分~3時30分
■講師 三好唯義氏〔神戸市立博物館学芸員〕
■テーマ 「古地図にみる大分」
■場所 大分市歴史資料館講座室
■料金 無料

【展示解説講座】
■日時 10月28日(日) 午後2時~3時
■料金 無料

開館時間 午前9時~午後5時 【入館は午後4時30分まで】
休館日 10月22日・29日・11月12日・19日
観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下無料 ※8歳未満は大人1名につき1名まで
※小中学生は保護者同伴、高校生は保護者同伴または学校の交付を受けている方と
その数量は別途案内で手帳を提示

大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分980-1 TEL.097-549-0880
交通案内 JR久大本線 国分駅下車 徒歩約10分
大分バス 国分駅前停留所 歴史資料館入口下車
大分自動車道 大分IC・光吉ICからとも約15分
主催 大分市教育委員会・大分市歴史資料館
後援 大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分・OCT大分ケーブルテレビ

会期:平成24年10月19日(金)~11月25日(日)

会場:第2展示室・テーマ展示室

開館日数:34日 入館者数:6,873人

出品点数:35点

記念講演会

日時:平成24年11月11日(日)13:30~15:30

場所:大分市歴史資料館講座室

聴講者数:55人



オープン式典の様子



記念講演会の様子

展示品リスト

I. 異国人がみた大分

	作品名	年代	数量	寸法（縦×横cm）	所蔵者
1	オルテリウス作 東インド諸島図	1570 年	1 舗	47.7×55.3	大分市歴史資料館
2	オルテリウス作 アジア図	1570 年	1 舗	45.3×57	大分市歴史資料館
3	オルテリウス作 タルタリア図	1570 年	1 舗	42.5×55.7	大分市歴史資料館
4	ジョルジオ作 中国図	1584 年	1 舗	38×48	堺市博物館
5	ティセラ作 日本図	1595 年	1 舗	41.3 ×53.9	大分市歴史資料館
6	スピード作 中国図	1626 年	1 舗	42.2×54.3	大分市歴史資料館
7	ブラウ作 中国・日本図	1650 年	1 舗	49×55	堺市博物館
8	○異国之図	江戸時代	1 舗	116×137	臼杵市教育委員会

II. 日本図に表された大分

	作品名	年代	数量	寸法（縦×横cm）	所蔵者
9	『海東諸国紀』（写本）	江戸時代	1 冊	27.5×20.5	大分市歴史資料館
10	○日本図	江戸時代	1 舗	80×105	臼杵市教育委員会
11	扶桑国都水陸地理図	江戸時代初期	6 曲 1 隻	131.4×182.4	神戸市立博物館
12	石川流宣作 大日本国大絵図	正徳 2 年（1712）	1 舗	96.3×175.4	東京国立博物館
13	伊万里焼 染付日本地図皿	江戸時代後期	1 枚	径 48	堺市博物館
14	伊万里焼 色絵九州地図皿	江戸時代後期	5 枚	長径 12・短径 6	堺市博物館
15	西海筋海路図屏風	江戸時代	6 曲 1 双	各 119.6×363	堺市博物館
16	瀬戸内海航路図巻	江戸時代	1 巻	40×全長 610	堺市博物館
17	伊能忠敬作 日本輿地図藁	文化 6 年（1809）	1 舗	120.5×204	神戸市立博物館
18	◎伊能忠敬作 九州沿海図 第三（伊能大図）	江戸時代（19 世紀）	1 幅	166.5×100.5	東京国立博物館

III. 大分を描いた絵地図（江戸時代～近代）

	作品名	年代	数量	寸法（縦×横cm）	所蔵者
19	正保城絵図「豊後府内城之絵図」(模写)	【原図 正保年間（1644～1647）】	1 幅	273×255	大分市歴史資料館 原図 内閣文庫
20	●御城下絵図	江戸時代（18 世紀中期）	1 巻	35.2×全長 2970.5	大分市歴史資料館
21	府内城下町絵図	享和 2 年（1802）頃	1 幅	119.6×120.8	大分市歴史資料館
22	杵築府内間山水図	江戸時代（19 世紀前期）	1 巻	30.5×全長 459.3	大分市歴史資料館
23	○寛永海部大分大野三郡図	江戸時代（17 世紀前期）	1 舗	174×182	臼杵市教育委員会
24	○豊後国図第三（『豊後国志』附図 大分郡）	寛政 12 年（1800）	1 舗	108×158	臼杵市教育委員会
25	日根野時代府内藩領図	江戸時代（17 世紀中期）	1 幅	88×158	大分市歴史資料館
26	○別府湾沿岸図	江戸時代	1 舗	99×137	臼杵市教育委員会
27	豊後国府内領絵図	明治 2 年（1869）	1 舗	39.3×78.5	大分市歴史資料館
28	大分町図	明治時代	1 枚	53×79	大分市歴史資料館
29	明治 40 年代大分町図	明治 40 年代（1907～1911）	1 舗	94.7×103.7	大分市歴史資料館
30	大正 10 年大分市街地図	大正 10 年（1921）	1 枚	38.5×53.8	大分市歴史資料館
31	大正 14 年大分市鳥瞰図	大正 14 年（1925）	1 枚	39×54	大分市歴史資料館
32	昭和 9 年大分市鳥瞰図	昭和 9 年（1934）	1 枚	18.9×98.8	大分市歴史資料館
33	戦災で消えた大分市中心部復元絵図	昭和時代	6 枚	各 39×54.7	大分市歴史資料館
34	昭和 25 年大分市鳥瞰図	昭和 25 年（1950）	1 枚	78.8×108.9	大分市歴史資料館
35	参考資料 府内城模型		1 点	100×130	大分市歴史資料館

◎は国指定重要文化財、○は県指定有形文化財、●は市指定有形文化財



展示会場 入口



「Ⅰ 異国人がみた大分」コーナー



「Ⅰ 異国人がみた大分」・「Ⅱ 日本図に表された大分」コーナー



「Ⅱ 日本図に表された大分」コーナー



「Ⅲ 大分を描いた絵地図（江戸時代～近代）」コーナー



「Ⅱ 日本図に表された大分」コーナー



「Ⅲ 大分を描いた絵地図（江戸時代～近代）」コーナー



地図パズル 体験コーナー

(3) その他の展示

自分史・家族史コーナー

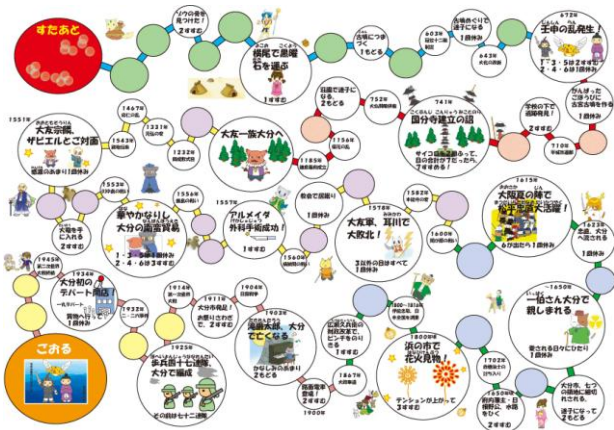
●市報（8月1日号）にて展示希望者を募った結果、数人の応募者があったが、展示できる資料がなく、今年度は実施できなかった。

代わりに「様々な絵双六」のミニ展示を行なった。当館が所蔵する明治時代の「笑門福々双六」や昭和30年代の「活劇王双六」「映画スタア双六」などを展示し、双六の歴史とともに紹介した。

あわせて、資料館特製の「大分れきしすごろく」を作成し、実際に体験できるコーナーを設けた。



「様々な絵双六」展示風景



作成した「大分れきしすごろく」

特別展示

「あなたが選ぶ館蔵陶磁器ベスト1」

●平成23年度テーマ展示Ⅳ「館蔵陶磁器—やきものの魅力—」（会期：平成24年2月4日～4月2日）で行った『あなたが選ぶ館蔵陶磁器ベスト1』の投票結果を受けて、みごと1位に輝いた館蔵陶磁器「翡翠釉菊花形小皿」について、展示期間を平成24年6月30日まで延長し、順位表パネルとともに特別展示した。



特別展示の展示風景

常設展示

「民俗のコーナー」

●農機具のコーナーに農機具解説書「お米と農具」を作成・設置した。

本館で展示している農具は、高齢の方には身近なもので、家族で来館した際、お孫さんに解説されている姿をよく見かける。来館者自身が語り部となることができるのは民具の良さであるが、若い世代では普段見かけない道具がほとんどである。

これらの問題を解決するため、農機具コーナーの展示では、民具の良さを活かしたまま、展示品には名前のみを記載し、詳しい解説は解説書として「本」形式のパネルとして設置した。

解説書には、道具の名前の由来や地域ごとの名称・歴史・使い方・現状に分けて記載した。これにより、初めてその道具を見た人だけでなく、使ったことのある経験者にも歴史や他地域の使い方など新たな発見ができるよう工夫した。



「農機具コーナー」解説パネル



「農機具コーナー」解説パネル

学習コーナー

「地図パズル 体験コーナー」

●第31回特別展「大分どんどこ こんなんとこー 世界図・日本図の中の大分ー」において設置した地図パズルの体験コーナーについて、特別展期間中、子どもやお子様連れの方々の反響が良かったので、特別展終了後、「学習コーナー」に移設し、引き続き楽しんでいただいている。



「地図パズル 体験コーナー」の風景

資料収集

資料収集委員会

1. 会議

開催日 平成 25 年 3 月 17 日 (日)

場 所 歴史資料館会議室

議 題 ①平成 24 年度購入予定資料の説明

②購入予定資料の熟覧

③購入予定資料の審議

2. 委員会名簿

氏 名	役 職	専 門
豊田 寛三	別府大学長	日本近世史
段上 達雄	別府大学文学部教授	日本民俗学
菊竹 淳一	九州大学名誉教授	日本美術史
鳥井裕美子	大分大学教育福祉科学部教授	日欧交渉史
下村 智	別府大学文学部教授	日本考古学

寄 贈 資 料

- (1) 靖国之絵巻 1 冊 米田重高 氏
- (2) 元川弥惣吉あて千葉市小仲合町留守業務局
第十四方面軍残務整理部安否回答 1 通／元川
弥惣吉あて塩田浩政書簡 1 通／元川弥惣吉
あて 小山剛書簡 1 通 元川ツヤコ 氏
- (3) 六年式防空用防毒面(昭和 17 年) 1 点／陸
軍将校用バック 1 点／『聖戦の後に』(清水東
川編集 昭和 14 年 3 版) 1 冊／『写真週報』220
号・227 号 252 号 3 冊／『御大禮御警衛記念』
(昭和 3 年 11 月) 1 冊／『われ等の陸海軍』(平
田晋策著 昭和 10 年第 16 版) 1 冊／『海軍電
気関係用語』(兵用図書株式会社 昭和 16 年刊)
1 冊／『非常時国民全集 生活篇』(中央公論社
昭和 9 年発行) 1 冊／『凱旋祝辞演説』(養武会
明治 38 年発行) 1 冊／『主婦の友付録 お台所
重宝辞典』(昭和 7 年発行) 1 冊／『少年倶楽部』
(第 23 巻―第 12 号 第 25 巻―第 8 号 2 冊／
戦時貯蓄債券 (7 円 50 銭 昭和 17 年 4 月) 1
枚／戦時報国債券 (10 円 昭和 18 年 8 月) 1
枚／貯蓄債券 (15 円 昭和 15 年 11 月) 1 枚／
日本銀行券 (1 円) 1 枚／北支那戦局図 (昭和 3
年 5 月 25 日 1 通／大阪朝日新聞 (上海総攻撃
昭和 7 年 2 月 6 日) 1 枚／大阪朝日新聞 (昭和

- 9 年 4 月 1 日) 1 枚／大阪朝日新聞 (昭和 9 年 5
月 1 日) 1 枚／大阪朝日新聞 (昭和 9 年 8 月 13
日) 1 枚／大阪朝日新聞 (昭和 9 年 11 月 1 日)
1 枚／大阪朝日新聞 (昭和 9 年 11 月 15 日) 1
枚／大阪朝日新聞 (昭和 9 年 12 月 1 日) 1 枚／
大阪朝日新聞 (昭和 10 年 3 月 1 日) 1 枚／大阪
朝日新聞 (陸軍特別大演習記年号 昭和 10 年
11 月 7 日) 1 枚／大阪朝日新聞 (昭和 10 年 11
月 25 日 1 枚／『面白倶楽部』(昭和 23 年発行)
1 冊／『ゼロ戦と戦艦大和』(富永謙吾監修 昭
和 47 年 39 版) 1 冊／『戦争中の暮らしの記録』
(昭和 48 年第 5 刷) 1 冊 坂本良雄 氏
- (4) 『赤とんぼ 終戦 50 周年記念』(平成 7 年
発行 1 冊／赤紙のコピー(和歌山連隊区司令部)
1 枚／終戦の御詔勅コピー 1 冊／大分県少飛会
会員名簿コピー (昭和 6 年 11 月 14 日発行) 1
冊／『大分県少飛会会報』第 9 号 (平成 6 年 7
月 1 日発行) 1 冊／『大分県少飛会会報』(平成
5 年 7 月 1 日) 1 冊／陸軍少年飛行兵出身者会
報 飛翔コピー (1992・平成 4 年 6 月発行江藤
周蔵氏の体験談部分) 1 冊／少年飛行兵 (江藤
周蔵氏の体験談部分) 1 冊 河野 満 氏
- (5) 謄写版道具一式 8 点 安東昇 氏
- (6) ヤス 1 点／モリ 1 点 山本茂 氏
- (7) 桶メガネ 1 点 久本和夫 氏
- (8) 平善 10 点／重箱 2 点／へら台 1 点／
まな板 1 点／漆器椀 10 点／真鍮箱 1 点／
佐藤テルヨ 氏
- (9) 前掛 1 点 久多羅岐明 氏
- (10) 角火鉢 2 点／手焙 2 点／鯉ぶし削り 1 点／
マント 1 点／たばこケース 1 点／行平 1 点／黒
電話 1 点／ブッシュフォン 1 点／甕 1 点／浜下
駄 1 点／下駄(爪革付) 1 点／洗濯板 1 点／練炭
火鉢 1 点／電灯傘 1 点／くけ台 1 点／アルミ製
米櫃 1 点 大渡康宏 氏
- (11) 軸装陶器製百人一種 1 点／五月人形 1 点
針川いづみ 氏
- (12) 根たおし鋸 1 点 後藤和正 氏

(13) 佐賀関漁労具一式 31 点 佐賀関支所
購入資料

(1) 豊後府内城図 1 冊
本紙：縦 68.5×横 54.5cm

豊後府内城とその城下を描いた絵図で、図右上に「城主 松平将監」の貼紙があり、大給松平忠昭が府内藩主であった万治元年（1658）～延宝 4 年（1678）頃の府内城を描いたものとある。寛保 3 年（1743）の大火で焼失して以後再建されることのなかった本丸天守が描かれていることから、本絵図は少なくともこの大火以前の状況を図示したものと考えられる。

松平忠昭の前代の府内藩主日根野吉明が正保年間（1644～48）に幕府へ提出した正保城絵図「豊後府内城之絵図」と比較すると、本絵図には東ノ丸の南東隅にあった平櫓が描かれていないものの、天守をはじめとする府内城の諸櫓の全てが図示されている。一方、正保城絵図には描かれていない「鉄炮蔵」が追手口の廊下橋から櫓門を入った正面の郭西側部分に描かれ、また府内城北方の住吉川と大分川の支流が合流する河口部の船番所については「此番所最前ハ小家ニテ候ヘトモ浦々ニ槌成者付置可申旨、被仰出候ニ付而、卯ノ寛永十六歳ヨリ如此新普請仕候」の説明書が付されているなど、府内城に関する新たな情報が図示されている。

寛永 16 年（1639）7 月 4 日、ポルトガル人の追放を決した幕府は、同年 8 月 7 日長崎に呼び出していた大名の使者に対して「浦々御仕置之奉書」と呼ばれる上意を伝え、ポルトガル船の来航を禁止するとともに領内浦々に常に確かなる者を置き、不審な船が来たら入念に改めるように命じており、本絵図に記された船番所の「新普請」の内容は、この上意を受けたものとみられる。

こうした政治情勢もうかがえる城絵図としても貴重なものといえる。

(2) 転并類族之書出 1 冊
本紙：縦 29×横 21.5cm

大友家に仕えた吉水常務の末裔である吉水藤右衛門が、貞享 4 年（1689）にキリシタンであっ

た曾祖父吉水常務と、その類族 18 名の旦那寺およびその生死の状況を書き上げたもの。

本書によれば、吉水常務は、天正 13 年（1585）に彼が 10 歳のときにキリシタンとなり、翌 14 年に棄教し豊後府内の大智寺の旦那となっている。その後、慶長 11 年（1606）竹田領の木浦に移り住み、同地の日蓮宗蓮成寺（蓮光寺カ）の旦那となり、さらに寛永 11 年（1639）に臼杵の法音寺の旦那となって慶安 3 年（1650）2 月 10 日、75 歳で病死したと記されている。

常務の父である吉水新助は「禅宗天徳寺」の旦那で、天正 15 年（天正 6 年の誤りか）の日向耳川で討死。また、母は吉岡治部の娘で、同じく禅宗天徳寺の旦那としてあり、（年未詳）11 月 12 日に病死したとも記されている。

天徳寺はもともと大友宗麟が津久見に設けた教会といわれており、常務がキリシタンとなった背景には父母や、天正 6 年にキリスト教に改宗した宗麟の影響があったと考えられる。

そのほか、①常務の妻、②倅の吉水三郎兵衛、③嫁で吉水三郎兵衛妻（吉富与三左衛門娘）、④孫の吉水太郎兵衛、⑤常務の兄吉水藤右衛門、⑥姪で藤右衛門の娘（吉水太郎兵衛の妻）、⑦甥の吉水茂助、⑧姪の神子田与三右衛門、⑨曾孫の吉水藤右衛門（本書の内容を記した本人）、⑩同じく曾孫の田北十右衛門、⑪玄孫の吉水善八（藤右衛門の倅）、⑫同じく玄孫の吉水藤助（藤右衛門の倅）、⑬同かん（藤右衛門の娘）、⑭同かい（藤右衛門の娘で稲葉喜八の妻）、⑮同たき（藤右衛門の娘）、⑯同とや（藤右衛門の娘）の 16 名の類族の状況が書き上げられている。

豊後国で類族制度が始まった貞享 4 年の書上帳として重要であるとともに、キリシタンとなった大友家の旧臣の顛末がわかる内容としても貴重である。

(3) 七十一番職人歌合 1 冊
本紙：縦 21.7×横 15.8cm

番匠や鍛冶職人、芸能人や宗教家、その他自由業など、142 人の職業の人々が左右二組に分かれて和歌の優劣を競うという仮託の歌合を、諸職人

の風俗絵とともに記したものの。

本書は、延享元年（1744）野田藤八郎によって刊行されたもので、内容は 1450 年前後に成立したとされる七十一番職人歌合絵巻をもとに作成されており、中世の職人の生態や時代背景などがわかる貴重な資料と理解されている。

大友氏遺跡の調査では、中世豊後府内において鍛冶や曲物・漆職人などの存在が確認されており、また大友吉統（義統）が文禄 4 年（1599）にまとめた「當家年中作法日記」によると、大友氏に仕える猿楽衆といった芸能集団や、桶結御作・工御作・塗師御作・土器作などの職人たちがいたことが記されている。本書は、戦国時代の豊後府内で活動した諸職人の姿を考える上でも貴重な内容とみられる。

（4）諸家留守居蔵元名代用達名寄帳 1 冊

本紙：縦 21.7×横 15.8cm

大坂に在る大名・旗本など 380 余家の留守居・蔵元・名代・用達の住所と名前を、い・ろ・は順にまとめたもの。「天保二年（1832）辛卯十月改」とある本書によれば、豊後府内藩では当時、築島町に蔵屋敷が置かれ、その管理責任者である「留守居」として谷口惣助なる人物がおり、また蔵屋敷の名義人である「名代」として伊丹屋等二郎・武右衛門、蔵屋敷の品物の管理・売却を行う実務責任者である「蔵元」として今宮屋東助なる商人がいたことが記されている。

また、臼杵藩では堂島新地五丁目の蔵屋敷の留守居に久保田深平、岡藩では築島町の蔵屋敷の留守居に安西勝馬、森藩では西信町の蔵屋敷の留守

居に飯田庄次、杵築藩では草安町の蔵屋敷の留守居に荒木泰象、佐伯藩では天満十壱丁目の蔵屋敷の留守居に長谷川右門、日出藩では西信町の蔵屋敷の役人として宮村九右衛門が務めている等とある。

本書は、豊後諸藩をはじめ、全国の諸大名の蔵屋敷の状況がわかる貴重な内容の資料である。

（5）豊後各温泉案内図

5 枚

本紙：縦 26.5×横 37.5cm（各図とも）

豊後の各温泉を俯瞰して描いた図で、明治 35 年（1902）に速見郡濱脇町在住の永井卯三郎・河野芳吉によって刊行されており、①「濱脇全景」、②「別府全景」、③「南立石両温泉（観海寺全景・堀田全景）」、④「朝日両温泉（鉄輪全景・明礬全景）」、⑤「亀川及濱田全景」の全 5 図からなっている。

上記「浜脇全景」の図では、家々が建ち並び温泉場で賑わった同地の状況とともに、明治 33 年（1900）に九州で始めて大分堀川一別府濱脇の間を走った路面電車も描かれている。図中央部を流れる朝見川の右側には、大正 6 年（1917）に暗渠にされて道路となり、「流川通り」の由来となった川も描かれている。また図裏には、現状裏打ちされているため判読が難しいが、浜脇町の風景・交通・戸口・旅館などの記事も載せられており、これによると、同町は当時戸数 1000 余戸、人口 4000 人、旅館 60 余戸と記されている。

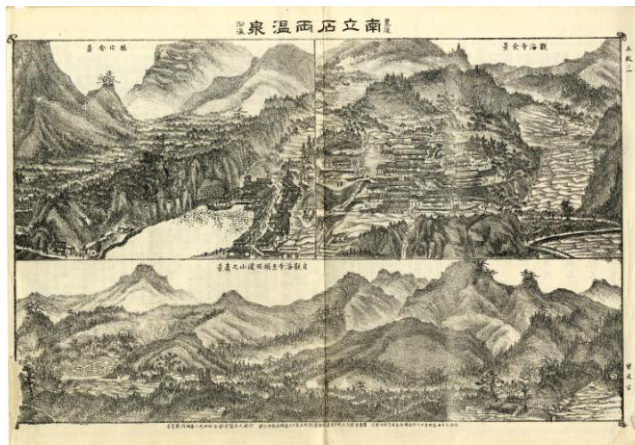
本資料は、こうした明治 35 年当時の別府八湯の様子とともに、同地地域の大部分の景観や状況がうかがえる貴重な内容の資料である。



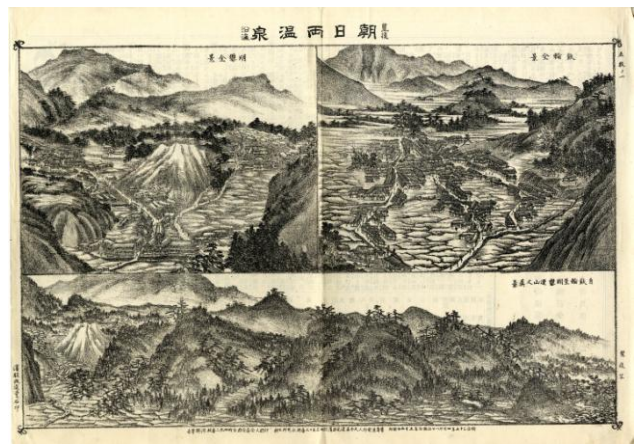
（5）豊後各温泉案内図 濱脇全景



（5）豊後各温泉案内図 別府全景



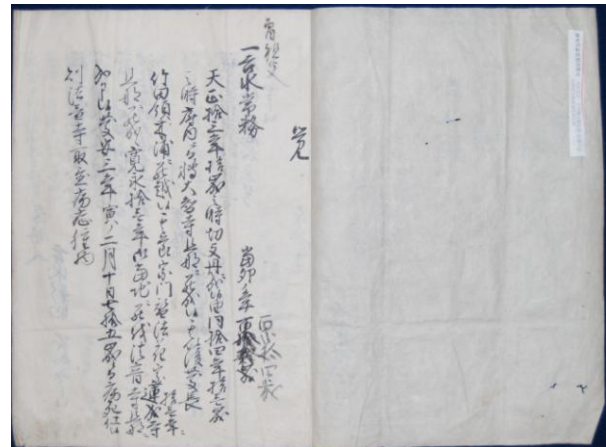
(5) 豊後各温泉案内図 南立石両温泉
(観海寺全景・堀田全景)



(5) 豊後各温泉案内図 朝日両温泉
(鉄輪全景・明礬全景)



(5) 豊後各温泉案内図 亀川及濱田全景



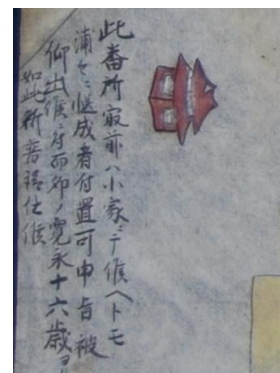
(2) 転并類族之書出

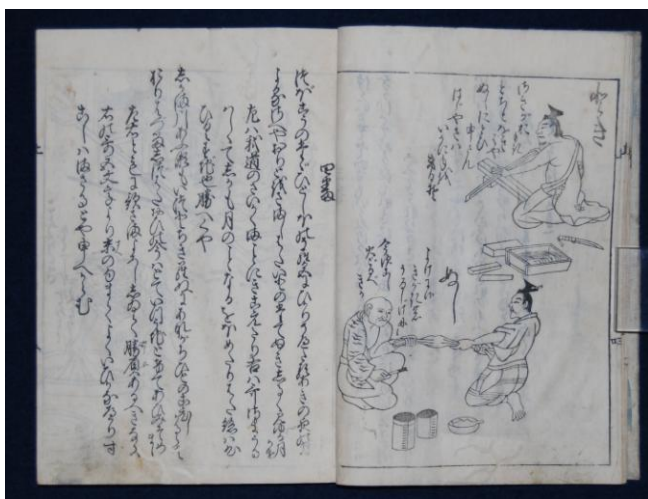


(1) 豊後府内城図

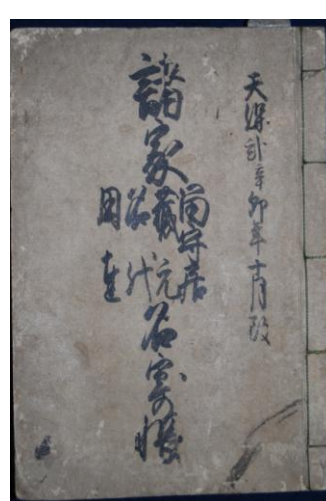
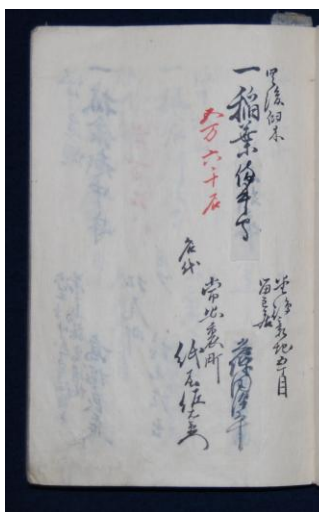
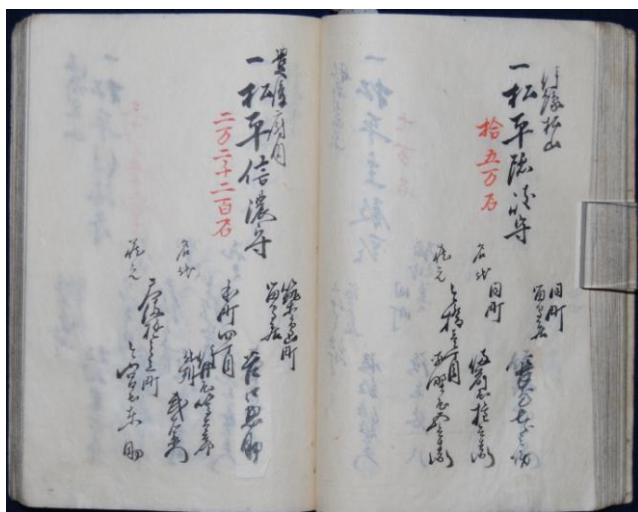


(1) 豊後府内城図
部分拡大





(3) 七十一番職人歌合



(4) 諸家留守居蔵元名代用達名寄帳

教 育 普 及 活 動

ふるさとの歴史再発見

高校生以上を対象に、歴史、考古、民俗・文化史、古文書の4コースの講座を下記の日程で開講。
定員：70名 / 受講料：各コース300円 / 時間：14時～15時30分

(1) 考古のコース 期間 4月～6月 第2・4土曜日 受講申込者数(76人)受講者総数(353人)

実施日	内容	講師	受講者
4月14日	史跡から見た大分市の歴史	中西武尚 (当館職員)	65人
28日	「大分」の源流?!ー古国府遺跡群ー	長 直信氏 (大分市教育委員会文化財課)	55人
5月12日	夢とロマンの大友館	五十川雄也氏 (大分市教育委員会文化財課)	57人
26日	鶴崎発心寺の調査ー加藤清正公建立の庫裡ー	松浦憲治氏 (大分市教育委員会文化財課)	59人
6月 9日	大分市の文化財行政 今むかし	塔鼻光司 (当館館長)	60人
23日	キリシタンと大砲	神田高士氏 (臼杵市教育委員会文化財課)	57人

(2) 歴史のコース 期間 7月～9月 第2・4土曜日 受講申込者数(80人)受講者総数(332人)

実施日	内容	講師	受講者
7月14日	中世豊後万寿寺の様相	武富雅宣 (当館職員)	53人
28日	高田輪中のくらしと歴史	長野浩典氏 (東明高校教諭)	58人
8月11日	竹田の資料から大分をみる	入江康太氏 (竹田市立歴史資料館)	52人
25日	崇徳院と青葉の笛ー『平家物語』の時代ー	櫻井成昭氏 (大分県立博物館)	57人
9月 8日	鶴賀城・戸次川の合戦	後藤真治 (当館職員)	60人
22日	『測量日記』に見る伊能忠敬の足跡	村上博秋氏 (大分県立先哲史料館)	52人

(3) 民俗・文化史のコース 期間 11月 第2・3土曜日 12月 第2・4土曜日 受講申込者数(59人)受講者総数(180人)

実施日	内容	講師	受講者
11月10日	食の文化・食の変化ー大分食べ物考ー	古瀬美鈴 (当館職員)	51人
17日	犬のはなし	阿南希依 (当館職員)	39人
12月 8日	鳥瞰図(パノラマ地図)に描かれた近代の別府	大山琢央氏 (別府大学非常勤講師)	50人
22日	憑きもの	細井雅希 (当館職員)	40人

(4) 古文書のコース 期間 1月～3月 第2・4土曜日 受講申込者数(65人)受講者総数(307人)

実施日	内容	講師	受講者
1月12日	豊後国万寿寺宛文書・大友宗麟感状等	武富雅宣 (当館職員)	58人
26日	寺田家文書「手扣」	〃	52人
2月 9日	〃	〃	53人
23日	〃	〃	47人
3月 9日	〃	〃	49人
23日	〃	〃	48人

ふるさとの歴史再発見受講者総数 1,172人

学校・団体の利用

大分市内の小中学校を中心に子ども会やPTA、家庭教育学級、児童育成クラブなどさまざまな団体による体験活動の利用があった。

☆移動講座（移動歴史教室）

歴史体験学習をより多くの学校、団体に活用してもらうために、依頼のあった学校や公民館へ出かけて体験学習を実施した。

〈学校・団体体験活動利用数〉

	利用団体数				利用者数				合計
					資料館		移動講座		
	学校	団体	移動	合計	児童・生徒	大人	児童・生徒	大人	
4月	2	2	0	4	166	98	0	0	264
5月	5	1	9	11	759	255	523	26	1,563
6月	4	3	7	14	535	129	522	60	1,246
7月	4	5	10	19	199	136	836	231	1,402
8月	7	8	4	19	535	379	144	92	1,150
9月	20	1	2	23	813	135	152	29	1,129
10月	25	0	4	29	2,437	210	330	182	3,159
11月	21	2	6	29	2,678	757	475	294	4,204
12月	2	0	3	5	54	46	83	34	217
1月	14	0	4	18	1,011	114	34	284	1,443
2月	6	3	0	9	322	159	0	0	481
3月	2	3	1	6	1,075	289	89	3	1,456
計	112	28	46	186	10,584	2,707	3,310	1,235	17,714

ふれあい歴史体験講座

親子や一般市民を対象に、下記の歴史体験講座を実施。

時間：午前9時30分～／午後2時～

回	実施日(土曜日)		内容	参加者数		
				子ども	大人	計
1	4/21	午前・午後	粘土はにわ作り	34	27	61
2	5/19	午前・午後	勾玉作り	18	21	39
3	6/ 2	午前・午後	土笛作り	15	14	29
4	6/30	午前・午後	土偶作り	70	51	121
5	7/ 7	午前・午後	七夕作り	47	39	86
6	7/21	午後	土面作り	16	15	31
7	8/18	午前・午後	かご編み	40	47	87
8	9/ 1	午前・午後	粘土はにわ作り	37	31	68
9	9/15	午前・午後	勾玉作り	27	29	56
10	10/20	午前・午後	管玉・丸玉作り	20	20	40
11	10/27	午後	遺跡発掘体験 ※雨天のため見学のみのみ	17	19	36
12	11/ 3	午後	古代火起こし	20	19	39
13	12/ 1	午前・午後	土の鈴作り	9	10	19
14	12/15	午前・午後	和風作り	28	31	59
15	1/19	午前・午後	勾玉作り	40	33	73
16	2/ 2	午前・午後	土笛作り	27	26	53
17	2/16	午前・午後	粘土はにわ作り	26	18	44
18	3/ 2	午前・午後	管玉・丸玉作り	13	13	26
19	3/16	午前・午後	勾玉作り	54	42	96
合 計				558	505	1063

体験講座	材料費
勾玉作り	200 円
粘土はにわ作り	220 円
土笛作り	50 円
管玉・丸玉作り	260 円
和風作り	200 円
かご編み	300 円
土面作り	120 円
土偶作り	170 円



かご編みの様子

昔のおもちゃで遊ぼう！

子どもの日に豊後国分寺跡史跡公園にて、昔ながらの手作りおもちゃで遊んでもらう体験講座を実施した。今回も、大正2年に作られ、東植田村光吉組で使用されていた消防ポンプ「竜吐水」による放水体験を行い好評を得た。

実施日：5月5日（土） 9時～16時

料 金：無料

内 容：昔のおもちゃ（折り紙飛行機・割箸紙飛行機・竹トンボ・ブーメラン・竹馬・竹カップカッポ・こま・竹弓矢・羽子板・シャボン玉・竹アーチェリー・わなげ・ゴム鉄砲・切り紙・糸電話・ぬりえ・数珠玉・お手玉・おはじき）、竜吐水

参加者：251人（大人121人／子ども130人）



親子で竹馬体験



竜吐水体験の様子

勾玉作り教室

夏休みと秋の祝日に、事前申込不要で、随時勾玉作りを楽しんでもらえる講座を計4回実施。

受付時間：9時～11時、13時～15時

材 料 費：1セット 200円

回	実施日	参加者数		
		子ども	大人	計
1	8/ 4(土)	124	96	220
2	8/ 5(日)	108	82	190
3	11/23(金)	210	155	365
4	11/24(土)	92	77	169
合 計		534	410	944



勾玉作りの会場の様子



勾玉の色付けの様子

夏休みジュニア歴史探検

小4～中学生を対象に、館内や史跡公園をクイズを解きながら巡る歴史探検やオリジナル勾玉作りなどを実施。

実施日：8月1日(水)・9日(木) 13時30分～16時
内 容：勾玉作り・歴史クイズ・館内見学など

実施日	参加者数		
	子ども	参 観	計
8/1(水)	11	0	11
9(木)	21	0	21
合 計	32	0	32



収蔵庫探検の様子



史跡公園探検の様子

職場体験学習の受け入れ

	学校数	受け入れ 日数	のべ人数
中学校	7校	15日	77
小学校	1校	1日	9
合 計	8校	16日	86



展示ケースの清掃



小学生の体験活動補助の様子



小学生の体験活動補助の様子



小学生の体験活動補助の様子

資料館体験学習指導者講習会

夏休み期間中に小・中学校教諭を対象に資料館の体験活動を紹介する講習会を2回実施。

時 間：9時15分～12時

内 容：資料館体験活動の紹介・体験実践

回	実施日	参加者数
1	8/10(金)	21
2	8/23(木)	14
合 計		35

博物館実習

実習生3名を受け入れて、下記の日程・内容で実施した。

実施日	内 容	担当
7/31	ガイダンス/資料の取扱い 等	中西・細井
8/1	資料保存・管理/体験学習実習	細井・後藤
8/2	展示の企画・実施について 等	中西・細井
8/3	教育普及活動/体験活動実習	後藤・古瀬
8/4	体験活動実習(勾玉作り教室)	後藤・中西
8/5	体験活動実習(勾玉作り教室)	岩本・古瀬
8/6	施設管理と運営/レポート作成	久多羅岐・中西

展示解説講座

テーマ展示及び特別展の展示品や内容をスライド等で解説する講座を実施。

時 間：14時～ 料 金：無料

実施日	内 容	参加者
5/13	テーマ展示Ⅰ解説	30
8/19	テーマ展示Ⅱ解説	19
10/28	特別展解説	25
1/13	テーマ展示Ⅲ解説	9
3/3	テーマ展示Ⅳ解説	23
合 計		106

ビデオライブラリー

一般入館者への視聴サービスとして、館蔵ビデオの上映サービスを実施。

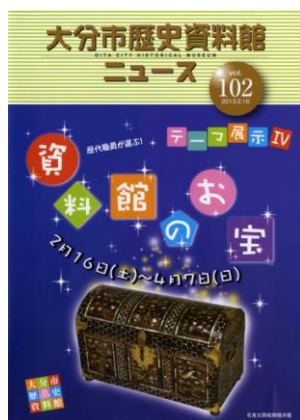
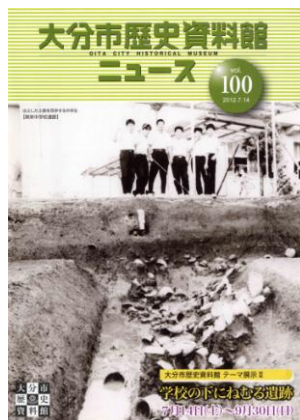
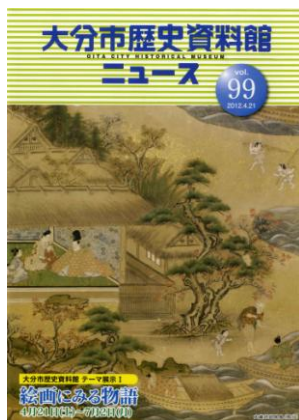
時 間：随時 料 金：無料

月	視聴者数		
	子ども	大人	合計
4 月	0	122	122
5 月	132	239	371
6 月	1	118	119
7 月	49	150	199
8 月	235	287	522
9 月	0	112	112
10 月	0	0	0
11 月	302	323	625
12 月	0	91	91
1 月	94	117	211
2 月	27	127	154
3 月	60	146	206
合 計	900	1,832	2,732

刊行物

名 称	規格	頁数	部数
歴史資料館ニュース 99 号	A4	4	6,500
〃 100 号	A4	4	6,500
〃 101 号	A4	4	6,500
〃 102 号	A4	4	6,500
第 31 回特別展図録	A4	48	1,000

※年報はホームページにて掲載



資料の利用・貸出

(1) 資料の利用提供

件 名	件数
熟覧・写真撮影等	191 件
テレビ撮影・放映等	14 件
新聞・雑誌等の取材	3 件
印刷物等掲載・写真貸与	18 件

(2) 資料の貸出

団 体 名	展示会名・資料名	数量
大分県立歴史博物館	「宇佐海軍航空隊と大分の戦争」戦争関係資料	20 件
大分県立歴史博物館	「喫茶の世界-お茶と日本文化」華南三彩貼花文五耳壺	1 点
賀来小中学校	授業の教材 風呂鍬・米俵	2 点
西の台小学校	炭火アイロン・火のし・火鉢	各 1 点

広報事業

平成 24 年度は、以下の施設等に、総合案内・歴史資料館ニュースの配布・掲示の P R 活動を実施。

学 校	小・中学校	150 校
	高等学校、大学	44 校
	県外大学等	18 校
行 政	市役所関係	87 カ所
	県庁関係	4 カ所
	県内自治体	48 カ所
博 物 館	県外博物館	180 カ所
	県内博物館	19 カ所
	県外埋文等	72 カ所
そ の 他	賀来地区自治会（毎月）	21 地区
	市政記者クラブ（随時）	21 社
	県内マスコミ	18 社
	交通機関・一般施設等	68 カ所

市民学芸員の活動

市民や地域にとってより身近な資料館となるよう、市民ボランティアの活力を取り入れることとし、「市民学芸員」を募集した。

平成 24 年度は、30 名を市民学芸員として登録し、古文書の解説と整理を行う「資料グループ」、来館者への展示解説を行う「解説グループ」、体験活動の指導を行う「体験グループ」の 3 つに分け、グループごとに活動を実施した。

グループ	回数	延べ人数
資料グループ	46 回	324 人
解説グループ	35 回	67 人
体験グループ	2 回	2 人
合 計	83 回	393 人



市民学芸員の活動の様子

歴史資料館利用状況

月別観覧者数

単位:人

年／月	開館日数	観覧者数									講座室利用者数								総来合館計者
		一般				団体				合計	一般		資料館講座			映画会		合計	
		大人	高校生	中学生	小学生	大人	高校生	中学生	小学生		大人	小中高生	歴史講座 解説講座	資料館 主催 体験講座	学校等 体験教室	大人	小中学生		
24/4	26	289	0	5	86	38	0	0	171	589	0	0	120	61	203	122	0	506	1,095
5	26	290	2	1	54	297	0	0	1,139	1,783	0	0	146	290	1,273	239	132	2,080	3,863
6	26	298	0	3	38	169	0	18	518	1,044	0	0	117	150	1,096	118	1	1,482	2,526
7	26	257	1	2	99	75	0	18	181	633	0	0	111	117	1,285	150	49	1,712	2,345
8	27	406	2	40	107	321	0	25	514	1,415	0	0	128	529	621	287	235	1,800	3,215
9	26	646	0	7	66	226	0	75	1,294	2,314	0	0	112	124	1,005	112	0	1,353	3,667
10	23	349	0	2	55	320	0	0	3,367	4,093	10	0	25	76	3,083	0	0	3,194	7,287
11	24	746	3	14	74	681	16	11	2,685	4,230	0	0	145	573	3,631	323	302	4,974	9,204
12	23	185	0	0	36	72	0	2	52	347	0	0	90	78	139	91	0	398	745
25/1	23	205	0	0	63	161	0	0	1,506	1,935	0	0	119	73	1,370	117	94	1,773	3,708
2	24	240	2	0	67	217	0	0	407	933	0	0	100	97	384	127	27	735	1,668
3	26	345	6	4	96	363	0	0	1,076	1,890	30	0	120	122	1,334	146	60	1,812	3,702
合計	300	4,256	16	78	841	2,940	16	149	12,910	21,206	40	0	1,333	2,290	15,424	1,832	900	21,819	43,025

管 理 及 び 運 営

1. 歴史資料館協議会

- 第1回 開催日 平成24年7月27日(金)
 会場 大分市歴史資料館 会議室
 (1) 委嘱状・辞令の交付
 (2) 委員・職員紹介
 (3) 議事
 ①平成23年度事業報告
 ②平成24年度事業計画及び経過報告
 ③その他

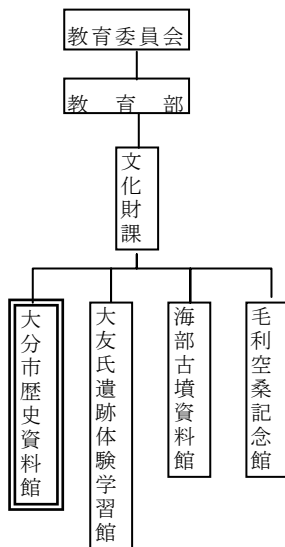
- 第2回 開催日 平成25年3月4日(月)
 会場 大分市歴史資料館 会議室
 (1) 議事
 ①平成24年度事業報告
 ②平成25年度事業計画(案)
 ③その他

協議会委員名簿

氏 名	役 職	備 考
橘 昌信	別府大学講師	学識経験者
豊田 寛三	別府大学学長	〃
河野 光	大分県立歴史博物館長	〃
渋谷 忠章	元大分県立歴史博物館長	〃
野田 友子	大分市PTA連合会 女性副会長部員	社会教育 関係者
三浦 祥子	元社会教育委員 NPO法人支援事業 選考審査委員会委員	〃
仲元 研二	大分市小学校 校長会代表	学校教育 関係者
淵野 暢浩	大分市中学校 校長会代表	〃

2. 組織機構・分掌事務・職員・歳入歳出

(1) 組織機構



(2) 分掌事務

- ①資料館の施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。
- ②歴史資料、考古資料、民俗資料等(以下「歴史資料等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- ③常設展示及び特別展示の企画及び実施に関すること。
- ④歴史資料等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- ⑤歴史、考古、民俗等(以下「歴史等」という。)についての講演会、講習会、研究会、映写会等の開催に関すること。
- ⑥学校、図書館、公民館等の諸施設に対する歴史等についての協力及び活動の援助に関すること。
- ⑦歴史資料等についての案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等の刊行に関すること。

(3) 職員

(平成25年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
館 長	塔鼻 晃司	嘱託(顧問)	讃岐 和夫
副館長	久多羅岐明	嘱 託	竹内 薫
副館長	武富 雅宣	嘱 託	幸野 洋一
主 査	秋吉えつ子	嘱 託	神志那 潔
指導主事	後藤 真治	嘱 託	古瀬 美鈴
指導主事	岩本 浩典	嘱 託	細井 雅希
専門員	中西 武尚	嘱 託	阿南 希依
主 任	金丸 英治	臨時職員	姫野 都貴

(4) 歳入歳出

単位: 千円

歳 入		歳 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
観覧料・	570	管理運営費	27,542
講座室使用料		企画展費	5,432
歴史講座受講料	81	資料購入費	840
図録売払代金	323		
雑収入	1		
雇用保険徴収金	8		
計	983	計	33,814

(1) 施設管理業務の一部委託

- ⑩ モニターカメラ設備保守点検
 ・・・・ J & K ビジネスソリューション(株)
 ⑪ ボイラー保守点検・・三浦工業(株)大分営業所
 ⑫ 展示資料及び収蔵庫燻蒸
 ・・・・・・・・・(株)大分イカリテクノス
 ⑬ 燻蒸設備保守点検・・・・・・・・(有)環境技術
 ⑭ 歴史資料館緑地帯及び
 豊後国分寺跡史跡公園管理
 ・・・・・・・・・ヘツギ十木緑地建設(株)

(2) 消防訓練の実施 平成24年7月19日(木)
入館者を安全かつ迅速に避難誘導するとともに、初期消火活動の技術の向上をはかり、併せて職員の防火意識の高揚をはかる目的で実施した。 参加人員 16名

1 階平面図

2 階平面図

階別	部門	室名	面積(m ²)
1 階	教育普及	第1講座室	63.72
		第2講座室	47.83
		映写室	8.23
	小計		119.78
	サービス	エントランスホール	215.05
		その他	131.25
	小計		346.30
	事務管理	館長室	30.37
		事務室	46.54
		会議室	38.20
		倉庫	33.69
		更衣室	3.72
	その他		14.73
	小計		167.25
	学芸調査	学芸調査	80.93
		学芸室	25.22
		写場	48.37
	小計		154.52
	収蔵	煙草室	6.75
		整理作業室	49.00
		フラットホーム	31.50
		荷解梱包室	52.02
		収蔵室	135.67
	小計		274.94
	機械室	機械室	197.54
		ERV他	10.06
		小計	207.60
	1階計		1270.39

総計	2614.92
----	---------

利 用 案 内

開館時間 9 時～17 時
(入館は 16 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
ただし、毎月第 1 月曜日は開館し、
翌火曜日が休館(祝日は開館)
祝日の翌日

(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)

観 覧 料 大 人 200 円(団体 150 円)

高校生 100 円(団体 50 円)

中学生以下は無料

*団体は 20 名以上

*特別展開催中は、別料金となる
場合があります。

交通機関 JR 久大本線

◎豊後国分駅下車：徒歩 2 分

大分バス〔国分新町行き〕

◎歴史資料館入口下車：徒歩 5 分

大分自動車道

◎大分 I.C・光吉 I.C よりともに
約 15 分

2012.4～2013.3 OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

大分市歴史資料館総合案内

展 覧 会

4 テーマ展示 I
絵画にみる物語
4月21日(土)～7月2日(月)

5 テーマ展示 II
学校の下に
ねむる道跡
7月14日(土)～9月30日(日)

10 秋の特別展
大分どんどこここんどこ
世界図・日本図の中の大分

12 テーマ展示 III
くらしの道具 今むかし
12月15日(土)～2月3日(日)

1 テーマ展示 IV
資料館のお宝
2月16日(土)～4月7日(日)

講 座 等

ふるさとの歴史再発見
◆考古のコース
4月～6月 第2・4土曜日
◆歴史のコース
7月～9月 第2・4土曜日
◆民俗・文化史のコース
11月 第2・3土曜日
12月 第2・4土曜日
◆古文書のコース
1月～3月 第2・4土曜日

■定 員 各コースとも70名
■対 象 高校生以上
■受講料 各コースとも300円

展示解説講座 (14時～ 無料)
テーマ展・特別展と各コーナー展、
スライドなどで展示品を解説し、
会場をご案内します。
ビデオライブラリー
大分の歴史に関するビデオなどが、
観覧できます。

体験講座

ふれあい歴史体験講座
■定 員 各50～70名(先着順)
■対 象 親子と一般(大人のみ可)
■時 間 9時30分～、14時～

期 間	日 時	内 容
第1期	4月27日(土)	午前・午後 粘土はにわ作り
第2期	5月19日(土)	午前・午後 土器作り
第3期	6月23日(土)	午前・午後 土器作り
第4期	6月30日(土)	午前・午後 土器作り
第5期	7月7日(土)	午前・午後 土器作り
第6期	7月21日(土)	午前・午後 土器作り
第7期	8月18日(土)	午前・午後 土器作り
第8期	9月1日(土)	午前・午後 土器作り
第9期	9月15日(土)	午前・午後 土器作り
第10期	10月20日(土)	午前・午後 土器作り
第11期	10月27日(土)	午前・午後 土器作り
第12期	11月3日(土)	午前・午後 土器作り
第13期	12月1日(土)	午前・午後 土器作り
第14期	12月15日(土)	午前・午後 土器作り
第15期	1月19日(土)	午前・午後 土器作り
第16期	2月2日(土)	午前・午後 土器作り
第17期	2月16日(土)	午前・午後 土器作り
第18期	3月2日(土)	午前・午後 土器作り
第19期	3月16日(土)	午前・午後 土器作り

昔のおもちゃで遊ぼう
■日 時 5月5日(土)【こどもの日】
9時～16時(15時受付終了)
■場 所 歴史資料館および史跡公園

夏休みジュニア歴史探検
■期 間 第1期 8月1日(土)
第2期 8月9日(土)
■時 間 9時30分～15時30分
■対 象 小学4年生～中学生
■定 員 各50名(先着順)

勾玉作り教室
■期 間 第1期 8月4日(土)
第2期 8月5日(日)
第3期 11月23日(金)
【勤労感謝の日】
11月24日(土)
■受付時間 9時～11時と13時～15時

利用案内

■開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
■休 館 日 月 曜 日 但し、祝日の場合は開館
但し、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館
祝日の翌日 但し、土・日曜日の場合は開館
年 末 始 12月28日～1月4日

■観 覧 料 大人 200円(団体150円) 高校生 100円(団体50円)
中学生以下 無料 ※団体は20名以上
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳
の交付を受けている方とその介護者は無料。
の入館時に受付で手帳を提示してください。

■住 所 〒870-0864 大分市大字国分960-1
TEL:097-549-0880 Fax:097-549-5766

各館の詳しい内容・応募方法などは市報・大分市ホームページでお知らせします。
大分市ホームページ <http://www.city.ota.lg.jp/> 「観光・魅力」歴史・文化財＞歴史・文化を学ぶ＞大分市歴史資料館





大分市歴史資料館年報

2013

発行日 平成 25 年 7 月 31 日

編集・発行 大分市歴史資料館

〒870-0864 大分市大字国分 960 番地の 1

TEL (097) 549-0880 FAX (097) 549-5766

